

1. 事業の位置付け

事務事業名	都市漁村交流支援事業		
事業担当	経済部 農水産課		
事業種類	○ハード ●ソフト		
総合計画の位置付け	'04	基本目標4 活力とにぎわいに満ちたまち	
	'02	②〈熟成〉市民の豊かな暮らしに貢献できる産業として成熟させる	
	'02	2 まちのにぎわいづくりに結びつく産業を展開する	
根拠法令等			
対象・受益者	市民	事業期間	
委託、協働	【委託: 3セク・財団 企業 NPO その他】【協働: 】		
目的・目標		事業の概要	
漁港施設の利用促進及び海洋レクリエーションが充実し、市民への漁業や海に対する理解が深まるとともに、市民から親しまれる漁業が推進され、漁業の活性化が図られています。		市民の漁業や海に関わる機会を拡大するため、各種海洋レクリエーションイベントを開催し、支援します。	

2. 事業の検証

活動指標①	指標名	都市漁村交流イベント開催回数				単位	回
	説明・算定式						
		平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度		
	目標	5	5	6	8		
	実績	5	9	3	6		
活動指標②	指標名					単位	
	説明・算定式						
		平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度		
	目標						
	実績						
成果指標①	指標名	都市漁村交流イベント参加者数				単位	人
	説明・算定式						
		平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度		
	目標	200	200	250	300		
	実績	200	400	120	350		
成果指標②	指標名					単位	
	説明・算定式						
		平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度		
	目標						
	実績						

事業分析	項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価
	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズ <input type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input checked="" type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他	イベントを実施することで市民への漁業や海に対する理解が深まり、親しまれる漁業の推進や漁港施設の利用促進に寄与しているため必要性は高いです。	● 高 ○ 低
有効性	<input type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input checked="" type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input checked="" type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	子供環境教室や相模湾海遊体験など漁業や海に対する理解・関心を高める上で有効です。	● 高 ○ 低	
妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input type="checkbox"/> その他	体験乗船などのイベントは漁業者が主体的に行っており、妥当性は高いです。	● 高 ○ 中 ○ 低	
効率性	<input type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input checked="" type="checkbox"/> その他	平塚市漁業協同組合が専門性を生かし、効率的・効果的に実施していて、行政は支援する体制をとっているため効率性は高いです。	● 高 ○ 中 ○ 低	

## 3. 年度別事業内容・決算額

(単位:千円)

		平成19年度 決算額	平成20年度 決算額	平成21年度 決算額	平成22年度 決算額
事業内容		都市漁村交流事業への支援	都市漁村交流事業への支援	都市漁村交流事業への支援	都市漁村交流事業への支援
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	起債	0	0	0	0
	その他 特財	0	0	0	0
	一般財源	0	0	0	0
事業費 (A)		0	0	0	0
執行率 (%)		0.00	0.00	0.00	0.00
内訳	職員 (人)	0.37	0.37	0.37	0.40
	再任用 (人)	0.00	0.00	0.00	0.00
人件費 (B)		3,105	3,105	3,092	3,304
フルコスト (A+B)		3,105	3,105	3,092	3,304

## 4. 事業展開の経緯

		平成19年度事業分	平成20年度事業分	平成21年度事業分	平成22年度事業分
進捗状況	遅れている理由	①:予定どおり -	①:予定どおり -	③:遅れている イベント実施主体の開催回数削減と悪天候によるものです。	②:若干遅れている
	主な取組と成果	小学生による体験乗船や子供環境教室等を実施し、親しまれる漁業の推進や遊漁業の活性化を図ることができた。	小学生による体験乗船や子供環境教室等を実施し、漁港施設の利用促進や海洋レクリエーションの活発化に取り組むことができました。	小学生による体験乗船や子供環境教室等を実施し、漁港施設の利用促進や海洋レクリエーションの活発化に取り組むことができました。しかし、体験乗船は費用が掛かることと気象・海象に左右されるため、中止になった企画もあります。	小学生による体験乗船や子供環境教室、観光船の誘致や新港での直売会等を実施し、漁港施設の利用促進や海洋レクリエーションの活発化に取り組むことができました。しかし、体験乗船は費用が掛かることと気象・海象に左右されるため、中止になった企画もあります。
検証結果		A:成果があがった 平成21年度への展開	A:成果があがった 平成22年度への展開	C:十分に成果をあげることができなかった 平成23年度への展開	A:成果があがった 平成24年度への展開
今後に向けた課題		海業の推進により、漁業の活性化が活発となるよう利用者・参加者の増加を呼びかけてより理解度が向上するよう働きかけを行う。	市民の漁業や海に対する理解を一層深めるために、交流事業の実施機会の拡充や参加者の増大を図ることが課題です。	市民の漁業や海に対する理解を一層深めるために、交流事業の実施機会の拡充、費用および参加者の増大を図ることが課題です。また、気象・海象に左右される事業であるため、その際の代替えを用意することも必要になってきます。	市民の漁業や海に対する理解を一層深めるために、交流事業の実施機会の拡充、費用および参加者の増大を図ることが課題です。また、気象・海象に左右される事業であるため、その際の代替えを用意することも必要になってきます。

1. 事業の位置付け

事務事業名	魅力ある花火大会開催事業		
事業担当	経済部 商業観光課		
事業種類	○ハード ●ソフト		
総合計画の位置付け	'04	基本目標4 活力とにぎわいに満ちたまち	
	'02	②〈熟成〉市民の豊かな暮らしに貢献できる産業として成熟させる	
	'02	2 まちのにぎわいづくりに結びつく産業を展開する	
根拠法令等			
対象・受益者	湘南ひらつか花火大会実行委員会	事業期間	
委託、協働	【委託: 3セク・財団 企業 NPO ○その他】【協働: 】		
目的・目標		事業の概要	
平塚八景である、湘南潮来、平塚砂丘夕映えの名所のPRとともに、市民参加による新たな花火大会が開催されています。		観光振興のため、市民の出資など市民参加による、にぎわいと魅力ある花火大会を開催します。	

2. 事業の検証

活動指標①	指標名	願かけ花火の周知手段数				単位	件
	説明・算定式	花火大会ホームページ・広報ひらつか・自治会					
		平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度		
	目標	3	4	6	5		
	実績	3	4	5	5		
活動指標②	指標名					単位	
	説明・算定式						
		平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度		
	目標						
	実績						
成果指標①	指標名	観客数				単位	人
	説明・算定式						
		平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度		
	目標	140500	141000	141500	140000		
	実績	110000	130000	140000	140000		
成果指標②	指標名	願かけ花火申込件数				単位	件
	説明・算定式						
		平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度		
	目標	420	450	470	470		
	実績	418	395	463	480		

事業分析	項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価
	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズ <input type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input checked="" type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他	一時の楽しみではあるが、湘南ひらつかの夏の風物詩として市民のニーズは高く必要です。	● 高 ○ 低
有効性	<input type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input checked="" type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input checked="" type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	夏の風物詩として花火大会を開催することは、市民満足度を高めるに有効です。また、湘南地域の近隣市町と開催日を調整して花火大会を開催しているため、地域全体のイメージアップに寄与しています。	● 高 ○ 低	
妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input checked="" type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input type="checkbox"/> その他	願掛け花火などを取り入れ、市民参加を増やし、花火大会を開催することは、市民の郷土愛、満足、自覚を高めることができるため妥当です。	● 高 ○ 中 ○ 低	
効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input checked="" type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input type="checkbox"/> その他	市民参加や市民出資(企業出資を含)を確保するとともに、コスト面においても効率的に花火大会を開催を進めていく必要があります。また、実施による経済効果を高める必要があります。	○ 高 ● 中 ○ 低	

## 3. 年度別事業内容・決算額

(単位:千円)

		平成19年度 決算額	平成20年度 決算額	平成21年度 決算額	平成22年度 決算額
事業内容		花火大会の開催	花火大会の開催	花火大会の開催	花火大会の開催、60回 記念事業の実施
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	起債	0	0	0	0
	その他 特財	0	0	0	0
	一般財源	8,800	8,500	8,500	8,300
事業費 (A)		8,800	8,500	8,500	8,300
執行率 (%)		100.00	96.59	100.00	100.00
内訳	職員 (人)	1.25	1.25	1.26	1.36
	再任用 (人)	0.00	0.00	0.00	0.00
人件費 (B)		10,489	10,489	10,529	11,233
フルコスト (A+B)		19,289	18,989	19,029	19,533

## 4. 事業展開の経緯

		平成19年度事業分	平成20年度事業分	平成21年度事業分	平成22年度事業分
進捗状況	遅れている理由	①:予定どおり	①:予定どおり	①:予定どおり	①:予定どおり
	主な取組と成果	平成19年8月3日(金)19時から20時30分まで、湘南潮来で開催した。カラーポスター83,500部、プログラム112,000部作成し新聞折込を行った。メディアランナーによる広告などを行い、PR一般企業364件で9,240,270円、願掛け花火418件で796,600円の協賛金があった。打ち上げ総数3,000発で、強風による影響もあったが110,000人の観客が訪れ、にぎわいと魅力ある花火大会を開催することができた。	ホームページや広報紙をはじめ、ポスターの掲示、プログラムの新聞折込等で花火大会の開催及び願掛け花火のPRを行いました。また、一般企業等からの協賛に対して、会場内に大型映像表示装置を設置し、企業宣伝などを行い、協賛するメリット等の充実に努めました。打ち上げ総数3,000発、130,000人の見物客があり、にぎわいと魅力ある花火大会を開催することができました。	7月31日(金)に打ち上げ総数3,000発、140,000人の見物客があり、にぎわいと魅力ある花火大会を開催することができました。実施にあたっては、ホームページや広報紙をはじめ、ポスターの掲示、プログラムの新聞折込等で花火大会の開催及び願掛け花火のPRを行いました。また、一般企業等からの協賛に対して、会場内に大型映像表示装置を設置し、企業宣伝などを行い、協賛するメリット等の充実に努めました。	7月30日(金)に打ち上げ総数3,000発、14万人の見物客があり、にぎわいと魅力ある花火大会を開催することができました。市民参加の充実として、地元の太平洋中学校の生徒による「須賀どっこい踊り」を披露していた。また願掛け花火のPRを積極的に実施した結果、願掛け花火の申し込みが昨年より増加しました。一般企業等からの協賛に対しても、会場内大型映像表示装置で企業宣伝を行い、協賛するメリット等の充実に努めた結果、昨年より協賛金が増加しました。
検証結果		B:おおむね成果があがった	A:成果があがった	A:成果があがった	A:成果があがった
		平成21年度への展開	平成22年度への展開	平成23年度への展開	平成24年度への展開
今後に向けた課題		市民参加を更に活発化させ、市民参加型を目指す。	願掛け花火など市民参加を更に活発化させ、コスト面においても効率的な花火大会を開催を目指します。	願掛け花火など市民参加を更に活発化させ、コスト面においても効率的な花火大会の開催を目指します。また、開催による経済的効果アップは、花火大会の性質や打ち上げ場所を考えると難しい面がありますが、努力する必要があります。	開催による経済的かつ効率的な効果アップを図るためには、花火大会の運営の根本的な見直しが必要であると考えています。そのため、花火大会運営のあり方について、関係団体と協議し、検討する必要があると考えています。